

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	立川市環境審議会
開催日時	令和5年3月16日（木曜日）10時～11時10分
開催場所	立川市役所本庁舎2階205会議室
次第	1. 諮問 環境施策の進捗状況について（たちかわし環境ブック2023） 立川市第3次環境基本計画及び立川市地球温暖化対策実行計画 （事務事業編・区域施策編）について 2. 議題 令和4年度家庭で取り組むエコチャレンジについて たちかわし環境ブックについて
配布資料	（当日配布） 資料1. 令和4年度家庭で取り組むエコチャレンジ審査表（優良事例賞候補 チーム） 資料2. 令和4年度家庭で取り組むエコチャレンジ事前審査採点結果
出席者	[委員] 上栗 優一、西澤 正明、古谷 登美、甲野 毅、村田 佳壽子、中島 孝昌、 岡村 優子、富川 泰介、近藤 豊、浅尾 文、田中 準也（敬称略） [事務局] 小倉 秀夫（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、 佐藤 一生（環境推進係長）、小宮山 英稔（環境指導係長）、 石原 光胤（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）
公開及び 非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	・ 議題：令和4年度家庭で取り組むエコチャレンジ審査について 事前審査で票数の多い順に5事例を優良事例とした。 ・ 議題：たちかわし環境ブックについて たちかわし環境ブック2023の構成について、従来通りとすること を確認した。
担当	環境下水道部環境対策課環境推進係 電話 042-528-4341

第13期 第3回立川市環境審議会 会議録

開催日時 令和5年3月16日（木曜日） 10時～11時10分

開催場所 立川市役所本庁舎 205 会議室

出席者〔委員〕上栗 優一、西澤 正明、古谷 登美、甲野 毅、村田 佳壽子、
中島 孝昌、岡村 優子、富川 泰介、近藤 豊、浅尾 文、田中 準也
(敬称略)

〔事務局〕小倉 秀夫（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、
佐藤 一生（環境推進係長）、小宮山 英稔（環境指導係長）、
石原 光胤（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）

1 諮問

田中準也副市長が市長に代わり諮問を行った。

諮問：環境施策の進捗状況について（たちかわし環境ブック2023）

立川市第3次環境基本計画及び立川市地球温暖化対策実行計画

（事務事業編・区域施策編）について

2 議題

<令和4年度家庭で取り組むエコチャレンジ審査について>

事務局から、各委員に事前審査をいただいた審査結果について、資料1、資料2をもとに説明を行った。

○委員意見（概要）

- ・令和4年度エコチャレンジについて優良事例を5事例選ぶことになっているが、事前審査の票数の多い順に選ぶのが一番オーソドックスである。文面からそれぞれの取組への思いがくみ取れた。最多の票数を集めた No69 はグリーンカーテンに取り組んでいる。5年くらい前までは事例のほとんどがグリーンカーテンであった。今回は1事例のみである。また、以前はエアコンを使わないで扇風機で頑張るという取組が比較的多かったが、全くなくなった。最近ではエアコンを使うのが当たり前になった。エアコンの使用をいかに減らすかがテーマとなっている。環境配慮行動もどんどん変わっている。委員の皆さんのご意見、ご感想をお願いしたい。
- ・グリーンカーテンは、以前苗が配布され、植えていた。グリーンカーテンが復活すると良い。グリーンカーテンを作っている子どもは、ゴーヤを食べられるのがうれしい。
- ・永遠に配り続けるのはできない。継続的に種子がとれるので、次の年も次の年もやってもらうのが狙いだった。種子から育てるのは難しい。
- ・この前ゴーヤの種をくらしフェスタで市民に配布した。たちかわエコパートナーでは2小、1小でグリーンカーテンの環境学習を行っている。

- ・そもそも行政の方でエコチャレンジをしている意義は、環境を考えましょう、CO₂を減らしましょうということだと思ふ。住宅の多い立川をはじめ全国的にも家庭部門からのCO₂が多い。日本の特徴である。企業には法で規制するなど力が働くが、家庭は難しい。エネルギー供給者側も脱炭素の努力をしているが、需要側である家庭部門からのCO₂を減らすことは難しい。啓蒙活動は地道な活動ではあるが環境意識を高めるためにとても重要である。エコチャレンジもそうした活動の一つ。表彰して効果を拡げる。

事例をみて、これなら私もできると感じるができるとか、工夫したこと努力したことが共有できる事例に票を入れた。
- ・表彰はどう行うのか？

⇒例年は、環境月間である6月の環境フェアで表彰していたが、コロナがはさまり環境フェアをやる時期が秋になっているので、環境フェアとは別の機会に表彰することを考えている。(事務局)
- ・環境フェアをもとの6月にもどすのはできないですか。

⇒実行委員会で開催時期を決めるが、準備期間がとれないこともあり、令和5年度は10月に行くことになった。令和6年度の時期を10月に行くか環境月間の6月が良いか実行委員会で遅くとも夏までに検討したい。(事務局)
- ・ゴーヤの苗を作って市民に配布していたので、6月が植えるにも育てるにも時期が良い。

⇒夏にエコチャレンジはやるので、できればその前にやりたい。ただ単純に表彰するだけでは、周辺への波及効果がないので、いろんな方が参加している場で、周知、啓発と兼ねて表彰を行いたいと考えている。他のイベント等での表彰も考えて調整を行っている。(事務局)
- ・家庭で行う取組は、15～20年くらい前に行われていた。手間がかかり効果がないので撤退する自治体が多い。立川は継続している。今までの変遷を見せていくこともよいことである。
- ・表彰のときに次のエコチャレンジの募集、お知らせはできるのか？

⇒表彰のタイミングによる。(事務局)

⇒夏休み前に学校にお願いして、児童一人ずつ案内を配布している。前任者が行い申込数も増加した。児童に渡すのが一番効果的である。(事務局)
- ・表彰のときに案内を配布するのが良い。

⇒ホームページ、広報でも紹介している。表彰のタイミングの問題もあるので、今後考えていきたい。(事務局)

⇒エコチャレンジをやる前のタイミングで表彰出来るようにしたい。見せ方も含めて検討していく。(事務局)
- ・審議をしていただき、表彰の対象は票の多い順に5チームにする。表彰の準備をお願いします。

<たちかわし環境ブックについて>

2月に配布したたちかわし環境ブック2022は、11月の審議会での意見等を反映し、庁内での意見を取り入れ修正を行ったものである。環境ブックは環境基本計画の進捗状況を反映させたデータブックである。次年度の環境ブック2023は令和4年度の数値を反映させるデータブックとなる。後期の環境基本計画中は、前年度と比較できるように2022と同様の構成で作成していく。秋ごろ審議会で2023の内容について審議をいただく予定である。

○委員意見（概要）

- ・11月の審議会の意見は反映され、細かい修正だけで大きな変更はなかったということでしょうか。次の環境ブックの構成は同じということですか。
⇒その通りです。環境ブックの構成は同じで、データを更新して審議をいただく。（事務局）
- ・特集について内容の候補はありますか？
⇒本市においては、清掃工場を燃やしているのがCO₂がでる。エネルギー起源のCO₂削減にごみ減量は大きい。事務局ではごみに関する特集を組みたいと思っている。（事務局）
- ・環境ブック拝見しました。ご苦労様です。
- ・審議会の意見が反映されたということで、よいと思います。

<その他について>

1 次回審議会日程について

来年度は3回程度審議会の開催を考えている。現在の環境基本計画が令和6年度までになっているので、令和7年度からの新たな環境基本計画等を策定するため次年度よりとりかかりたい。令和5年度予算が可決され、第3次環境基本計画等に関するコンサルタントに係る委託の予算も認められた。どのような内容で委託していくかを考えていく。環境基本計画に反映させる根幹の内容として市民意見の反映がある。どのように反映させるかこれから考える。どういう内容の住民アンケートをとるかアンケートの素案ができれば次年度1回目の審議会を開きたい。夏前を考えているが場合によっては遅れることがある。10～11月頃に環境ブックの審査をお願いしたい。また、夏ごろに意見を頂いたアンケート案を庁内で審議して、このようになったと報告したい。3度目は今の時期にエコチャレンジと環境ブック完成についての予定である。

市の根幹である令和7年度からの長期総合計画が令和6年度末の議会に報告になるので、他の計画はこの3ヶ月後の予定になる。目標として令和7年6月又は9月の議会までに完成予定。それに向けて進めていきたい。環境基本計画と合わせて地球温暖化対策実行計画事務事業編、区域施策編の策定を行うのでかなり大が

かりになる。

○委員意見（概要）

- ・内容の確認として、令和7年度から新しい環境基本計画になり、次の1年は環境基本計画と市民アンケートの内容について審議を行うということによいか。コンサルが入るのが令和5年度からであれば、審議会の意見を出すチャンスがあるということか？

⇒コンサルへの発注方法や業者選定については、契約事務のルール等により行う。環境施策に関わることは審議会へ報告、審議を行う。（事務局）

- ・コンサルが入ると市民アンケートを行うのは、第2次環境基本計画のときと同じか？

⇒今後アンケートをいつするかどうい内容にするか決めていく。第2次ときは市民へのアンケート調査をして、この環境審議会とは別に市民や環境団体の方で作られた基本計画の会議体をつくり意見をいただいた。いただいた意見を案に反映させて、審議会に諮り意見を頂いた。現時点では同じように考えている。（事務局）

- ・事前に前回のアンケートも参考として見せていただきたい。

⇒わかりました。（事務局）

⇒アンケートはホームページには載っていない。環境基本計画と合わせて策定する温対法にもとづく区域施策編は、市民、事業者の方がどう取り組むべきなのかという数値にするか市民、事業者の方が主体となるものである。現在の事務事業編は事業者である立川市のものだが、区域施策編はオール立川市での策定で市民、事業者との関わり方が重要。計画を作るプロセスにもしっかり関わっていただき、やっていかななくてはいけない。こういう風にやりたいと固まっていないので、ご相談をさせていただきかわり方をお示ししたい。

先日、商工会議所で環境をテーマに会議を行ったこともあり、エネルギー事業者も含めて一緒にやっていかなければいけない。区域施策編を非常に意識しながら、3次基本計画を進めていきたい。（事務局）

- ・前回の審議会でも意見として出したが、環境ブック2022は、それぞれの項目で年度別にグラフが入っていて見ればわかるが、主要な項目をまとめたものはできないか。一目で立川市の環境がどうなっているのか、こういう方面は維持されているとわかるようなものがあれば素晴らしい。コンサルが入るのならブックの中からパラメーターを抜いて、素晴らしいのができるのではないか？

⇒コンサルを入れるのは環境基本計画であり、2023ブックに向けては、基本的に我々職員の方でやっていく。ブックに入っている過去のデータを使いながら新しい未来へ向けた環境基本計画にフィードバックする。そのときに、カテゴリー毎にサマリーとして棒グラフやレーダーチャートなどを加工はしていく。環境ブックは基本的にどれが重要と言うより、チェック本として現在の環

環境基本計画を振り返る構成になっている。これを二次加工するというのは、3次基本計画に向けての検討において、テーマごとに行うことをやりたい。ブックそのものをどこか割愛するものではないので、粛々と基本計画がどうなっているのか定性的、定量的にお示しし、それを客観的にトレンドについてコメントを入れる。さらに圧縮するのは難しい。過去のトレンドとそれを受けて未来の政策をどうするかは基本計画の中でしっかり分析していきたい。(事務局)

- ・中間過程でサマリーを作られるのであれば、市民に見せるものがあってよいと思う。

⇒3次基本計画の骨子案、素案、原案という段階では、市民の皆様にお披露目をして意見を頂く。サマリーから肉付けをして最終版の計画へステップを踏みながら市民の皆様のご意見を聞きたいと考えている。(事務局)

- ・環境ブックのサマリーは、今日だけでなく今までもかなり議論があった。仰る通りサマリーでは表現しきれない。今までの経緯をしっかりと見ていくのがブックである。委員が仰っているのは市民が関心、意識を持ってもらえるシーンが少ないということだと思う。納得のいく環境基本計画を新たに作るには、市民の関心、意識を高める方法が何か必要であると思われる。

ステップを踏んでいくとのことだが、何か決まっているのか。

⇒まだ検討段階です。委託業務としてやること各種外部委員会との関係などもう少し整理する必要がある。

業者も決まっていない。ワークショップでやるのか市民意見交換会でやるのか。前回のように環境審議会の下にあるような検討委員会を作ってやるのかまだ確定していない。どういうふうにするかこれから検討する。(事務局)

2 新清掃工場見学について

本日午後の新清掃工場見学について出欠及び移動手段について確認を行った。

以上